

# えもんみっけ!

～市民レポーターのページ～

市民レポーターの皆さんが、市内のさまざまな場所に出かけて、市民ならではの視点から小牧の魅力や身近な話題について取材した様子を、毎月15日号で紹介していくコーナーです!

REPORT 194



生の音楽に触れられる機会です

皆に愛される

まちかどピアノに

最近はやりのストリートピアノ、ご存じですか?なんと小牧にもあるのです。なぜここに?と不思議に思っている人もいないのでしょうか。ストリートピアノを管理している中部フィル交響楽団の演奏事業部・乾光季さんに話を聞いてきました。

利用が開始されて以来、新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの発出で、利用が中止される期間もありましたが、再び、利用が可能になりました。こんな時期ですので、

度々、利用中止がありました。

小牧市を拠点に活動する中部フィルハーモニー交響楽団が2020年に創立20周年を記念し、ラピオ1階にストリートピアノ(まちかどピアノ)を設置しました。音楽団体のひとつとして音楽の魅力発信していきたいという思いもあり、小牧商工会議所 梶本一典会頭の協力のもと、SNSでピアノの寄付を呼びかけました。小牧でカラオケ喫茶を営む佐藤栄利子さんが寄贈してくれることに。50年ほど前のアックライトピアノですが、3、4回の調律を経て、思い入れのあるピアノにもう一度命を吹き込むことができました。



ピアノを寄付した佐藤栄利子さん。5歳の時に両親から買ってもらったピアノで、音楽大学を卒業するまでこのピアノで練習をしたそうです。現在は、カラオケ喫茶を営みながら、ボーカルレッスンの講師や歌手としての活動をしています。

不安やストレスを感じる方が多い中、少しでも心穏やかに和やかな気持ちになってもえればと願っています。小牧の新たなシンボルになるといいですね。

サロンコンサートなどができたらいいなあという話が出ています。具体的には何も決まっていますませんが、商業施設なのでさまざまな問題をクリアにした上で長く続けていけるといいですね。

「どなたでも自由に」がコンセプト。まちかどピアノが音楽の一つの場になり気軽に音楽に触れてもらいたいと中部フィル演奏事業部の乾さんは話します。市民の皆さんに愛されるまちかどピアノを目指しています。

音楽系ユーチューバーもラピオ小牧で「夜に駆ける」を演奏し、何人足を止めてくれるかチャレンジしたとのこと。次々とお客さんが集まり大盛り上がりだったようです。せっかくなので設置したので有効活用し、たくさんの人に弾いてもらい、今後は

## 編集後記



あんみつ

今まで実際に演奏している場面に遭遇したことがなく敷居が高いなと思っていました。毎日学校帰りに弾いている高校生もいるのだとか。皆が気軽に演奏することで利用者が増えるといいです。まずは子どもに弾いてもらおうかな



オープニングイベントではバイオリンも披露した中部フィル演奏事業部・乾さん

今回の取材先



中部フィルハーモニー交響楽団

住所: 小牧2-107 市民会館内  
電話: 43-4333  
HP: <http://chubu-phil.com/>

# 言葉の相談室、

## 小牧ようてい記念病院・小児言語療法

「小さな子供のおしゃべり。どれだけ聞いていてもかわいらしく、飽きませんよね。もし、そんなおしゃべりをなかなか始めなかったら？うまく発音できなかったら？そんな悩みに寄り添い、子供の成長の手助けをしてくれる小牧ようてい記念病院・言語聴覚士の渡邊育美さん（写真＝一番右）に話を聞いてきました。



言語聴覚士の皆さん。とっても優しいです！

3年前に小牧に開院した小牧ようてい記念病院。ここには小牧で唯一の小児言語療法（外来）があります。それは理事長の「小児言語は大事」「地域で困っている人がいれば助ける。子どもでも、親までも」という思いから始まり

した。

「受け皿は広く」その理念通りに、どんな親子も、たとえ診断のつかない子どもたちも、言語で困っているのであれば、まずはご相談ください。

親や子どもが必要だと思うときに必要なサービスを提供するのがです。

### 思いに寄り添う

言語療法に通う子どもは年齢が2歳から就学前の子ども。言葉が出ない、反応がない、しゃべっていることが理解できない、言葉をうまく話せず「コミュニケーションをとることが難しい、そんな子どもたち。

地域の健診や幼稚園や保育園の先生からの紹介だったり、両親や祖父母な

ど周りの大人たちがネットで探したりと、来院するきっかけはさまざま。

共通するのは、子どもが心配だということ、その子の近い、そして遠い将来を思って相談してくるということです。

子どもの発達はもちろん、心配し悩んでいるその家族の思いに寄り添い、家族の心のケアも行います。

### 何故ではなくこれから

トレーニングは子どもだけでなく、療士だけでもできます。

大人であれば自分の状況を把握できても、子供にはそれができません。



子どもが楽しみながら、リハビリを受けることができる工夫がこまっています。

子供の性格や環境を把握し、その子の特性に合ったトレーニングをするためには、家族からの情報がとても重要です。だからこそ、しっかり話を聞くことから始めます。

家族ではできない、客観的な目で子どもを見極め、時には子どもと療法士だけで、また時には家族も一緒にその時々で必要なトレーニングをするのです。

なぜできないか、を追究するのではなく、少しでもよいこれからをつくるためにトレーニングを行うのです。

### 言語療法を受けるには

現在近隣地域でも言語療法を行う病院施設は数が少なく、現状では連絡して順番待ちという状況です。

まず、連絡をして、「何で困っているか、どんなことが心配か」を伝えま

す。言語療法が開始できる順番がくると連絡が入るので、再度言語療法を希望するかの確認をしてト

トレーニングを開始します。

待機解消のために今春からは療法士を増員し、更なる「地域で困っている親子をなくす」を目指しています。



リハビリテーションセンターの入口。病院とは思えない穏やかな空間

### 編集後記



ヤンキ

ここでは年齢以外での明確な終了期間は設けていないそうです。心に不安があるうちはトレーニングを続けられるのだそう。とことん寄り添ってくれて感動！

### 今回の取材先



小牧ようてい記念病院

住所：西之島丁田 1963  
電話：65・7517  
休診日：日曜、祝日  
HP：http://youtei-kinenbyouin.com